

平成 2 2 年度
藤枝市教育委員会事業評価報告書
(平成 2 1 年度事業)

平成 2 3 年 2 月
藤 枝 市 教 育 委 員 会

－ 目 次 －

事業評価の導入の要旨	P 1
平成 2 0 ・ 2 1 年度事業評価	P 1
平成 2 2 年度事業評価	P 3
事業評価対象事業一覧	P 4
各事業の評価報告	P 6
教育委員の活動状況報告	P 1 6

I. 事業評価の導入の要旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）が改正され、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、事後に点検・評価し、また、地域住民に公表することで活動を充実することとなりました。

法は、平成20年4月1日より施行され、当市も同法第27条の規定に基づき藤枝市教育委員会の事業評価を実施することとなりました。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【要旨】

- ①毎年、実施すること。
 - ②教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと。
 - ③点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る。
 - ④その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表すること。
- 以上の項目について実施することが義務付けられた。

II. 平成20・21年度事業評価

1. これまでの事業評価

教育委員会が実情を踏まえて決定し、既に事務の管理・執行について評価を行っている場合は、その手法を活用することが可能とのことから、これまで全庁的に実施していた「藤枝市行政評価システム」の中で、教育委員会事業評価も実施する方向でいましたが、平成20年度から「藤枝型NPM（新公共経営）」が導入され、「藤枝市行政評価システム」の実施は見送られることとなったことから、平成20年度・21年度は、平成19年度まで本市で実施していた「藤枝市行政評価システム」を活用し、前年度事業を対象に抽出し、当該事業を実施した課長等が事業評価を行いました。

事業評価の対象事業は、原則的に教育委員会各課・館が実施した事業の内、第4次藤枝市総合計画・後期計画に位置付けられた事業や教育施策の各課・館の主要施策などの事業としました。

2. 事業評価委員会の設置

過去2カ年は、教育委員会が事業評価を行ううえで、有識者の知見の活用を図るため、教育委員会に外部委員5名からなる「藤枝市教育委員会事業評価委員会」を設置し、意見及び助言をいただきました。(同法第27条第2項)

3. 事業評価報告書の議会報告と公表

検証された事業については、「事業評価報告書」にまとめ、市議会2月定例会に報告し、市のホームページに掲載し、各公民館、図書館に設置して公表しました。

4. 課題

① 事業評価の報告の遅延

平成20、21年度の事業評価については、評価委員会を設置し、概ね12月までに事業評価を行い、翌年2月の教育委員会定例会までに報告書を作成し、市議会に報告しているが、例年、市議会から前年度の事業評価を翌年度の最終の市議会定例会に報告するのは遅いとの指摘がありました。

その理由は、前年度の決算は9月議会で確定することから、その後、評価委員会を開催し、事業評価、報告書の作成、議会報告の計画であったため、2月議会での報告となっていました。

② 他課、市議会等で実施する事業評価との整合性と二重性

平成21年度より「藤枝型NPM（新公共経営）」に伴う「全事業の総点検」が導入され、当年度の事業点検・評価及び新年度予算への反映等の展開が行政サービス評価委員会の意見や提案を求めらる中で図られることとなりました。

また、平成22年度より議会改革の取り組みとして設置された「決算特別委員会」（議員を決算と予算の特別委員会に分け、市の全体事業を一括審査することで、全体的・体系的に審査し、適正な行政運営を確保及び翌年度の予算編成に対し、効果的な提言を行うことを目的とする。）においては、「全事業の総点検」の資料を基に審査及び評価され、抽出された事業への意見・提案及び次年

度予算編成への提言書を市に提出されました。

その他には、安心・安全な学校づくり交付金を活用した施設整備については、外部の有識者を含めた委員会が施設整備計画の事後評価を実施し、文部科学省に報告することとなっていることから、「藤枝市まちづくり交付金評価委員会」に評価及び意見を求めております。

以上のように、教育委員会の事業を含め、市の全事業については、「全事業の総点検」の資料を使用し、市議会や有識者を含めた第三者機関が審査や評価及び意見提案していることから、教育委員会での事業評価は重複していることが指摘されています。

Ⅲ. 平成２２年度事業評価

前項目の内容等を踏まえ、平成２２年度の市議会の「決算特別委員会」及び「行政サービス評価委員会」「藤枝市まちづくり交付金評価委員会」において教育委員会の事業を含めた全事業の総点検が実施されており、両会においても、

- ①決算特別委員会は、毎年実施する。
- ②教育に関する事務を含め市の全事業の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。
- ③点検・評価を行うに当たっては、議員は広く学識経験を有する者であり、その知見の活用を図られる。
- ④その結果については、議会で「決算審査記録」が作成され、市に提言されるとともに議会だより、市のホームページにより公表される。また、行政サービス評価委員会における全事業の総点検結果の審議状況について」市のホームページにより公表される。

以上の法により義務付けられた事項を含む点検・評価が実施されることから、教育委員会だけで突出して事業評価をするよりも、この手法を活用することで教育委員会事業評価報告に代えることとします。

平成22年度 藤枝市教育委員会事業評価対象事業一覧（平成21年度事業）

No.	事業名	事業内容	課・館名	評価機関
1	英語指導助手諸経費	外国人指導員による小中学校の児童生徒への英語指導	学校教育課	議会決算特別委員会
2	適応指導教室等活動事務費	不登校等の児童生徒に対しての適応指導及び本人・保護者への相談業務		
3	心の教室相談員活用事業	全中学校において「心の教室相談員」による、生徒及び保護者への相談業務		
4	放課後子ども教室推進事業	地域住民の支援による、小学生を対象に放課後や週末における学習やスポーツ活動等	生涯学習課	
5	子ども読書活動推進事業費	子どもが自主的に読書活動ができるための環境整備	図書館	
6	学校給食運営費	安全で安心な学校給食の提供	学校給食課	
7	小中学校校舎耐震補強事業	小学校3校、中学校2校の校舎等の耐震補強工事	教育総務課	藤枝市まちづくり 交付金評価委員会
8	ふじの翼グローバルリーダー養成事業費補助金	社会貢献のためのリーダーの育成のための参加者に対する補助	生涯学習課	行政サービス評価委員会
9	青年団事業費補助金	青年団活動の事業費補助		

各事業の評価報告

事業名	英語指導助手諸経費		所管 課館名	学校教育課	事業No.	1
事業の概要及び目的	<p>新学習指導要領の改訂により、小学校は5・6年生で年間35時間週1コマ相当の外国語活動が新設され、H23年度より完全実施となるため、21,22年度は移行期間として年35時間以内で先行実施した。英語に堪能な地域在住の外国人を活用、市内全17小学校を6人のALTが巡回指導を行った。</p> <p>中学校については、外国人ALT英語指導業務委託を㈱インタラックと長期継続契約(3年)し、外国人ALT3名による全中学校への巡回指導を行っている。</p>					
事業費	H21 予算	20,687,000 円	財源 内訳	[市費]	20,687,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H21 決算	19,357,200 円	財源 内訳	[市費]	19,357,200 円	
				[国県補助金]	0 円	
H21事業内容	<p>小学校では、全17校で年間10～35時間の外国語活動(英語)を実施、ALTはその全時間で学級担任とチームティーチングを行った。また、教具や指導案作成の補助も行っており、23年度からの完全実施に向けてスムーズにスタートできる体制が整ってきている。</p> <p>中学校では、年間1クラスあたり13.6時間ALTを配置した。どのALTもネイティブスピーカーであり専門的な研修も積んでいるため、指導力も高く、質の高い英語によるコミュニケーション活動を実施することができた。</p>					
評 価						
進捗(決算)についての評価						
① 23年度に向けて、スムーズに取り組んでいると評価できる。						
課題解決に向けての意見・提案						
① 教育日本一に向けた取り組みの中で、小中が連携して英語を教えていくモデル授業を研究されてはどうか。						
翌年度予算編成への提言						
① 英語教育の必要性を認識するが、実際の展開には十分な意思疎通をはかり、一方的にならないよう配慮されたい。						
② 今後のことを考慮すれば、増額を検討することになる。						

事業名	適応指導教室等活動事務費		所管 課館名	学校教育課	事業No.	2
事業の概要及び目的	学校だけでは対応しきれない困難な問題が多くなっている中、不登校等児童生徒に対して、集団への適応指導及び本人、保護者との面談、あるいは電話による相談等を実施し、学校復帰への支援を行ったり、心の安定を図ったりしている。不登校児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、きめ細やかな支援を行うため、指導員5名、訪問相談員1名、カウンセラー1名を配置している。					
事業費	H21 予算	11,190,000 円	財源 内訳	[市費]	11,190,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H21 決算	11,051,964 円	財源 内訳	[市費]	11,051,964 円	
				[国県補助金]	0 円	
H21事業内容	<p>平成21年度の通級生は、小学生3名、中学生18名、計21名であった。（平成20年度は計19名）</p> <p>そのうち、学校復帰した児童生徒（登校する、または登校できるようになった児童生徒）は13名で、全通級生に対する割合は61.9%であった。（平成20年度は11名で、割合は57.9%）</p> <p>個の状況に応じた対応に心がけているので、適応指導教室ではどの子も安定した生活が送れており、心のエネルギーを高めていくことができた。</p>					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 対応の難しい事業であり、実情を評価する。						
② 学校復帰した割合は61.9%と評価は大きい。個の対応に心がけていることが効果につながっている。						
課題解決に向けての意見・提案						
① 教員OBだけでなく、広く市内に在住する児童心理カウンセラー等の発掘・活用を求める。						
② 大変忙しい教師の手助けになるような行政支援をされたい。						
翌年度予算編成への提言						
① 不登校ゼロを目指すための予算措置を考えるべきである。						
② 指導員不足を解消する待遇改善措置が必要なことから、予算増をされたい。						

事業名	心の教室相談員活用事業		所管 課館名	学校教育課	事業No.	3
事業の概要及び目的	生徒及び保護者が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る者を身近に配置し、心のゆとりを持てるような環境を提供するために、中学校全校に「心の教室相談員」を配置する。					
事業費	H21 予算	3,090,000 円	財源 内訳	[市費]	3,090,000 円	
					[国県補助金]	0 円
	H21 決算	3,087,851 円	財源 内訳	[市費]	3,087,851 円	
					[国県補助金]	0 円
H21事業内容	平成21年度、相談員がいる「心の教室」に来室した生徒は全校で延べ7,586名（平成20年度は7,014名。ただし平成20年度は岡部中は未配置である。）、相談件数は全校で延べ701件（平成20年度は502件）であった。多くの生徒が心の教室相談員へのかかわりを求めており、それによって心の安定が図られ、安心した気持ちで学校生活を送っている生徒も多い。					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 悩みや問題を親子に適切に指導できる本制度は大変重要であり、確実に成功してほしい。						
課題解決に向けての意見・提案						
① 時間と経験が豊かな指導者が必要である。早急な結論のみを求めず、接触することによっての感触を将来に活かしてもらいたい。						
② 相談員の専門職という観点から、正規職員として質の向上を図り、ニーズに応えられるようにすべきである。						
翌年度予算編成への提言						
① 相談員活用について、きめ細かな対応を望む。						
② 中学生の相談員不足は適応指導同様だが、最近は小学生にも心の相談が必要であることから、小学生まで範囲を広げ大幅な予算の増額をされたい。						

事業名	放課後子ども教室推進事業		所管課館名	生涯学習課	事業No.	4
事業の概要及び目的	<p>地域社会の中で、子どもたちが安全で安心して健やかに育まれる居場所作りを推進する事業です。放課後や週末等に公民館や小学校体育館などを活用して、子ども達に学習やスポーツ・歴史文化の継承等の活動が地域の方々の支援で実施されております。</p> <p>平成21年度では、5つの教室が活動しました。</p>					
事業費	H21 予算	2,700,000 円	財源内訳	[市費]	900,000 円	
				[国県補助金]	1,800,000 円	
	H21 決算	2,526,000 円	財源内訳	[市費]	842,000 円	
				[国県補助金]	1,684,000 円	
H21事業内容	<p>平成26年までに、全小学生を対象として教室の開設を計画していますが、21年度で5教室となりました。各教室とも概ね40人を超える子どもと地域ボランティアの協力を得て、月2回程度活動しています。日頃、地域の大人との接点が少ない子どもたちが交流を図る中で安全な居場所づくりとなっています。また、市の目標でもある、地域の子どもは地域で育てるという事業にも適応しています。</p>					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 拡大に取り組まれており、評価できる。						
② 5教室の月2回の活動は、まだボランティアの位置付けにより、順調とは言えないが、努力は評価する。						
③ 放課後児童クラブを補完するものとして充実してもらいたい。（児童クラブとの一体化ではなく）						
課題解決に向けての意見・提案						
① 子どもは社会と地域と家庭が一体となって育てることが必要である。現在実行している地区だけではなく広く市内へ普及したい。						
② 学校と地域、子どもと地域の大人との接点の場としても粘り強い実施校拡大の取り組みを求めたい。						
③ 放課後児童クラブ、各学校との連携強化が必要である。						
④ ボランティア活動にも限界があることから、放課後子ども教室の仕組みを見直し、新たな発想で文化協会等に協働事業として位置づけられたい。						
翌年度予算編成への提言						
① スタートして間もない事業であるが、是非とも各地域で開設できるよう努力されたい。						
② 事業の拡充を図る。						
③ 実施校が増えれば、それに見合った予算編成となると思われる。						

事業名	子ども読書活動推進事業費		所管課館名	図書館	事業No.	5
事業の概要及び目的	子どもがあらゆる機会にあらゆる場所で自主的に読書活動を行うことができるよう、その為の環境整備や、読書機会の提供、読書活動の啓発などの推進を図り、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とし、移動図書館車の運行・読み聞かせ・ブックスタート・よむゾーくん大賞などの事業を実施する。					
事業費	H21 予算	2,860,000 円	財源 内訳	[市費]	2,860,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H21 決算	2,176,000 円	財源 内訳	[市費]	2,176,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
H21事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館（駅南）の開館や岡出山図書館の改修（耐震補強）による読書環境の充実 ・従来の移動図書館車のステーションを見直し、放課後児童クラブを中心とした巡回サービスに変更（20箇所） ・団体貸出による幼稚園、保育園の読書活動支援サービスの実施 ・ボランティアとの協働によるおはなし会などの充実 ・赤ちゃんと保護者が絵本を介して、言葉と心を通わすことを応援するためのブックスタート事業の実施（配布1,059人） ・自分で読んだ本をイラストや文で紹介するよむゾーくん大賞の実施（応募1,049人） 					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 子どもと本の関わりが大切である。						
② 事業の内容が良い。						
③ 必要不可欠である。						
④ 学校へ父兄が、ボランティアが参画し活動の支援をしている姿を見て、心が動かされる。						
課題解決に向けての意見・提案						
① 2～3歳児に向けての第2期ブックスタートの検討はどうか。（本に興味を示す）						
② 読書習慣は子どものときにつけるのが良いと思うので、関係者との協力をはかり進めたい。						
③ 協力者・協賛者を多く募り、活動をしていただく中で、子どもたちの読書に対する意識を高揚させたい。						
④ 図書館と学校図書室との連携をどう取るのか検討を望む。						
⑤ 文化協会やボランティア活動の団体との連携を深め推進されたい。例えば詩吟を覚えることは漢詩と歴史上の人物を知り、読書をすることになる。						
翌年度予算編成への提言						
① 読書活動の活発な展開を支援したい。						
② 実績に上積みする予算を望む。						

事業名	学校給食運営費		所管館名	学校給食課		事業No.	6
事業の概要及び目的	<p>1 目的 児童生徒の栄養摂取による健康の保持増進を図り、かつ日常の正しい食生活への理解と、望ましい食習慣を養うことができるよう、安全で安心な学校給食を提供する。</p> <p>2 事業内容 全体概要 給食施設 中部、北部、西部の3センター 食数 1日当たり約13,000食 市内27校に提供 給食回数(年間) 小学校 180回 中学校 178回</p>						
事業費	H21 予算	195,967,000 円	財源内訳	[市費]	195,967,000 円		
				[国県補助金]	0 円		
	H21 決算	193,100,985 円	財源内訳	[市費]	193,100,985 円		
				[国県補助金]	0 円		
H21事業内容	<p>食中毒等を防止するため、徹底した衛生管理を行い、また使用する食材についても鮮度や産地、原材料について細かく検討することで、安全で安心な学校給食を提供することができた。 給食週間の機会を捉え、地産地消への取り組みや栄養教諭による食育の推進が図られた。</p>						
評 価							
進捗(決算)についての評価							
① 今後も地産地消を大切にしていきたい。							
② 安全でバランスの取れた学校給食に対して、細心な取り組みをしていることは非常に喜ばしい。							
③ 地産地消の取り組み、食中毒への取り組み、アレルギーの対応に努力が見られる。							
④							
課題解決に向けての意見・提案							
① 学校給食の安定運営や衛生面に配慮して運営されていることを更に追求して展開していただきたい。							
② 米飯食や地産地消に向けて、JA等を媒介とした情報連携を図るとともに、アレルギー対応については、保護者団体と情報を密にしていきたい。							
③ アレルギー対策について、メールマガジンを活用してはどうか。事前の家庭での調査徹底が必要。							
④ 施設整備の計画の早期作成を求めたい。							
⑤ 食材については、可能な限り地元食材を取り入れる。							
⑥							
翌年度予算編成への提言							
① 野菜が高騰している中で苦勞されていると思うが、保護者への負担を増やさない予算編成を望む。							
② 地産地消への更なる取り組み、メールマガジンの活用に関する予算を計上する。							
③							
④							

事業名	小中学校校舎耐震補強事業		所管 課館名	教育総務課	事業No.	7
事業の概要及び目的	昭和56年5月以前の旧建築基準の学校施設の耐震診断が平成21年度で全て終了した。 その結果に基づき、安心して学習できるよう、施設の耐震補強工事を行う。					
事業費	H21 予算	893,000,000 円	財源 内訳	[市費]	564,727,000 円	
				[国県補助金]	328,273,000 円	
	H21 決算	832,590,990 円	財源 内訳	[市費]	393,837,990 円	
				[国県補助金]	438,753,000 円	
H21事業内容	①広幡小学校校舎北棟（RC4階建て 延べ1,690㎡） ②葉梨小学校屋内運動場（鉄骨造平屋建て 延べ883㎡） ③藤岡小学校校舎（RC3階建て 延べ4,838㎡） ④藤枝中学校校舎北棟（RC3階建て 延べ3,840㎡） ⑤高洲中学校校舎（RC4階建て 延べ4,214㎡） の耐震補強工事实施					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 仮設校舎を建てないで耐震補強工事を実施し、コスト削減を図ったことが評価できる。						
② 耐震補強工事と併せて外壁等の老朽改修工事を実施したことも評価できる。						
課題解決に向けての意見・提案						
東海地震に対して耐震性能がやや劣る県の耐震基準ランクⅡの施設についても、早急に ① 対策が実施できるように要望するとともに地盤調査を含めた対策についても検討すること。						
翌年度予算編成への提言						

事業名	ふじの翼グローバルリーダー養成事業費補助金		所管 課館名	生涯学習課	事業No.	8
事業の概要及び目的	<p>県の主催事業であり、海外青年と交流を図り、多文化共生社会へ貢献できるリーダーの育成と事業に参加した知識、国際感覚を地域づくりに活かしていくための青年を育成するもので、市内参加者に一部補助するものである。</p>					
事業費	H21 予算	80,000 円	財源 内訳	[市費]	80,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H21 決算	80,000 円	財源 内訳	[市費]	80,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
H21事業内容	<p>平成21年7月18日から 7回の座学、11月20日～25日の海外研修。 (海外研修先：中華人民共和国浙江省杭州市、上海市) 藤枝市からの参加者 2名 (学生1名、教員1名)</p>					
評 価						
委員からの質問						
① ふじの翼グローバルリーダーの補助金の使い道は。						
本市（当局）の回答						
<p>県の主催事業であり、海外青年と交流を図り、多文化共生社会へ貢献できるリーダーの</p> <p>① 育成と事業に参加した知識、国際感覚を地域づくりに活かしていくための青年を育成するもので、市内参加者に一部補助するものである。</p>						
評価						
① 今後も補助金の対象事業を明確にするとともに、効果をあげるよう努力されたい。						

事業名	青年団事業費補助金		所管 課館名	生涯学習課	事業No.	9
事業の概要及び目的	青年相互の親睦と資質の向上を図るとともに、市や各種団体と協力して明るい住みよい地域づくりに寄与するためにおこなう青年の事業に補助している。					
事業費	H21 予算	150,000 円	財源 内訳	[市費]	150,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H21 決算	150,000 円	財源 内訳	[市費]	150,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
H21事業内容	事業内容 ・ 藤の花見 ・ ハイキング ・ クリーンハイキング&バーベキュー ・ 宅配サンタ ・ ウォークラリー ・ 子ども会フェスティバル支援 ・ 藤枝市成人式ボランティア					
評 価						
委員からの質問						
① この団体の構成員は何人いるか。						
② 補助金の対象となる事業はどのようなものか。						
③ その事業の受益者は何人くらいいるのか。						
④ 補助金はどのような効果を狙ったもので、その効果は達成されたか。						
本市（当局）の回答						
① 構成員は14人						
② 青年相互の親睦と資質の向上を図るとともに、市や各種団体と協力して明るい住みよい地域づくりに寄与するためにおこなう青年の事業に補助している。						
③ 青年団主催事業に市民100人余り、また藤枝マラソン等のボランティア活動では大勢の市民へ貢献している。						
④ 青年団活動は全国的に減少している中で、若い力を地域づくりに生かしていく事業に今後取り組んでいく。						
評価						
① 今後も補助金の対象事業を明確にするとともに、効果をあげるよう努力されたい						

教育委員の活動状況報告

教育委員の活動状況報告

1 教育委員会の会議

藤枝市教育委員会では、藤枝市教育委員会会議規則の規定に基づき、月1回の教育委員会会議（定例会）と、必要に応じ臨時会を開催しています。

教育委員会の所掌事務は、「当該地方公共団体が処理する教育に関する事務」（法第23条）と定められており、その範囲は広範であるため一部の事務は「教育委員会の権限の一部を教育長に委任す規則」により教育長に委任されています。従い、定例会では教育長に委任できない事務について審議をしています。

平成21年度の定例会及び臨時会での審議内容等は以下のとおりです。

【定例会開催回数】 12回 【臨時会開催回数】 3回

【附議件数】 31件

【附議の内容】

No.	案 件	件数
1	教育委員会規則等を制定し、又は改廃すること	8
2	議決を要する議案について市長に意見を申し出ること	3
3	附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること	7
4	職員の人事に関すること	6
5	教育に関する一般方針を定めること	1
6	文化財の指定に関すること	0
7	その他	6
	計	31

2 教育委員協議会の開催

教育行政の更なる推進と円滑なる教育委員会の運営を図る目的で、「藤枝市教育委員協議会」を設置しています。協議会は、法上の適用はなく本市の教育行政の当面の課題等について、委員会の審議とは別に制約のない自由な「話し合いの場」として、また「委員の研修の場」として会議や現場視察を実施し、本市教育委員会の活性化を目指しています。

2 1年度活動状況は、以下のとおりです。

【教育委員協議会の実施内容】

分類	案 件
I 予算・事業	1 21年度の教育委員協議会の実施内容について
	2 22年度の教育委員会の主要施策について
2 調査・研究	1 教育委員会制度と定例会について
	2 藤枝型新公共経営について
	3 「子どもが安心して学べる学校づくりに向けて」指針について
3 懇談	1 市長と語る会
4 現場視察	1 小規模校の教育方針と現状（朝比奈第一小学校）

3 学校及び社会教育施設の行事・研修会への参加

毎年行われている、指定校の研究発表会への参加や地元組織が主催し各公民館で開催されるふれあいまつりへの訪問など、学校や地域の現状、情報の収集、相互理解を図る機会でもあり、積極的な参加に務めました。

また、静岡県市町教育委員会連絡協議会が主催する研修会、市及び教育委員会各課館が主催する市民向けの講演会や行事へ参加することにより、教育委員としての資質の向上や自己研鑽にも務めています。

平成22年度
藤枝市教育委員会事業評価報告書
(平成21年度事業)

平成23年2月
藤枝市教育委員会

